

資料配付の場所

- 1.国土交通記者会
  - 2.国土交通省建設専門紙記者会
  - 3.国土交通省交通運輸記者会
  - 4.筑波研究学園都市記者会
- 平成 26 年 3 月 27 日同時配付

平成 26 年 3 月 27 日  
国土交通省  
国土技術政策総合研究所

## 中心市街地の賑わいを取り戻す、我が国初の実務向け調査体系による歩行者空間づくり ～「商店街等の戦略的ストリート形成のためのマニュアル」～

国総研では、全国で問題となっている、中心市街地の賑わいを取り戻す、我が国初の実務向け調査体系を策定し、マニュアルを作成しました。この調査手法は、**安価にもかかわらず、まるで人体を CT スキャンする如く、歩行者の状況を面的に把握**し、また、欧州での取り組みを**拡張することにより、賑わい施策の発見**や街づくりの議論が可能となりました。今後の取り組みとして、**H26 年度にも、複数都市において本マニュアルの実践が予定され**ております。

1. 人口減少、超高齢社会の到来を前提とした今後の都市構造再編、リノベーションを促進が期待される一方、現実の地方都市は、中心市街地の衰退が進んでいるため、全国の多くの地方都市が、「中心市街地の賑わいの取り戻し」を切望しています。
2. このため、国総研は、**歩行者を重視した中心市街地づくりの議論を、安価に、面的で客観的なデータを用いて支援する、我が国初の実務向け調査体系**を策定し、マニュアルを作成しました。
3. 本マニュアルの特徴は、
  - 従来の歩行者調査は、**その量を定点で把握するのが一般的**でしたが、今回の調査では**「自転車」と「GPS 付小型カメラ」という簡易な方法により、まるで人体を CT スキャンする如く、歩行者の状況を面的に把握**します。
  - 人の動きのパターンを現地の歩行者から聞き取る簡易な方法により把握します。
  - イギリスを中心にヨーロッパで取り組み始められた、歩行者重視の中心市街地づくりの手法の一つである「空間ネットワーク分析」を**拡張し、エリア全体の商店街の集客力向上を目指す戦略的ストリート形成や、人の動線誘導のための看板設置から再開発に至るまで、幅広く賑わいづくりの施策を発見、議論**できます。
4. **H26 年度にも、複数都市において本マニュアルの実践**が予定されております。本マニュアルについては、研究段階から、多くの自治体やまちづくり会社から問合せがありました。本マニュアルが多くの自治体、NPO、まちづくり関係者の方々に活用されることによって、中心市街地の賑わいが取り戻されることを期待しております。
5. なお、本マニュアルは、どなたでも**国総研のホームページからダウンロード**できます。
  - ◆ ダウンロード先アドレス <http://www.nilim.go.jp/lab/jcg/index.htm>

問い合わせ先 国土技術政策総合研究所 都市研究部 都市施設研究室 藤岡、○高柳  
電話 029-864-3949(藤岡)、○3952(高柳) FAX 029-864-6776

「賑わいづくり施策発見マニュアル」の構成

